愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2025年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	子ども家庭支援論		
担当者(Instructors)	渡邊 明宏	配当年次(Dividend year)	3
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

■授業の目的と概要(Course purpose/outline)

現代社会における育児や子育て家庭に対する支援について、対象となる家族や家庭がおかれた現状を知ることから、その意義と必要性、目的と機能、子育て家庭の福祉のための社会資源などについて学修する。それをふまえ、保育者として求められる基本的態度や、その専門性を活かした家庭や地域に向けた具体的な支援について学修する。そして、現代の子育て家庭が抱える多様な問題や課題について保育者の立場として考え、判断して対応を考えられるようになることを目的とする。

■授業形態・授業の方法(Class form)

授業形態(Class form)	講義
授業の方法(Class method)	テキストを用いて、子ども家庭支援に関する基礎的な理論を修得する。そして、修得した知識を活かして事例などを検討・考察する際には、ディスカッションやグループワークを実施する。ディスカッションやグループワークの事後には振り返りを行う。

■各回のテーマとその内容(Each theme and its contents)

回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	オリエンテーション、子ども家庭支援とは①	現代社会における家族・家庭の現状について理解する。	□
第2回	子ども家庭支援とは②	子ども家庭支援の意義と必要性について理解する。	□
第3回	子ども家庭支援とは③	子ども家庭支援の目的と機能、保育者の役割について理解する。	□
第4回	子育て支援・次世代育成支援の施策	子育て支援・次世代育成支援の背景や制度について理解する。	□
第5回	子育て家庭の福祉	子育て家庭の福祉のための社会資源と、その現状や課題について理解する。	□
第6回	専門性を活かした子ども家庭支援	保育の専門性を活かした子ども家庭支援の意義や、留意事項について理解する。	□
第7回	子育て支援のプロセス	保護者と、子どもの育ちの喜びの共有することによる子育て支援を理解する。	□
第8回	保護者や地域の子育て家庭への支援	園児の保護者や地域の子育て家庭への支援について理解する。	□
第9回	子ども家庭支援における基本的態度	信頼関係、バイスティックの7原則について理解する。	□
第10回	家庭の状況に応じた支援	家庭における現代的な課題と、支援を行う保育者に求められる事柄を理解する。	□
第11回	地域資源の活用、関係機関との連携	地域資源の活用や自治体・関連機関との連携・協力について理解する。	□
第12回	子ども家庭支援の内容・対象	子ども家庭支援の対象やアプローチ、内容について理解する。	□
第13回	地域の子育て家庭への支援	地域の子育て家庭への支援の状況と特徴、支援者の姿勢について理解する。	□
第14回	要保護児童とその家庭への支援	要保護児童とその家庭や背景と、支援の枠組みについて理解する。	□
第15回	まとめ、これからの子ども家庭支援	授業内容を振り返り、子育てニーズの状況や課題について理解する。	□

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

授業前にテキストの予習（2時間）をする。授業後は配布資料や学修内容に基づいてまとめを作成（2時間）する。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

授業内の提出物に対しては次回以降にまとめてフィードバックし、全体で共有する機会を設ける。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2019子ども発達DP2	現代の子育て家庭に存在する多様な問題や課題について保育者として考え、判断し、それに対応する力を身につけている。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			50%	50%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

テーマのまとまり毎に提出物を課す。また、ディスカッションやグループワークでは積極性や事後の振り返りを評価する。

■テキスト(Textbooks)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	こどもまんなか社会に活かす「子ども家庭支援論」（晃洋書房）	未定（2025年3月刊行予定）
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No.(No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	必要に応じて適宜プリントを配布する。	
2		
3		
4		
5		